



2020年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年12月10日

上場会社名 株式会社シーイーシー 上場取引所 東
 コード番号 9692 URL https://www.cec-ltd.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田原 富士夫
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 中村 義幸 TEL 046-252-4111
 四半期報告書提出予定日 2019年12月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト等向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2020年1月期第3四半期の連結業績（2019年2月1日～2019年10月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年1月期第3四半期	38,087	3.0	4,438	20.1	4,507	21.1	2,897	15.9
2019年1月期第3四半期	36,979	12.0	3,696	42.1	3,722	41.2	2,500	45.5

（注）包括利益 2020年1月期第3四半期 3,006百万円（49.5%） 2019年1月期第3四半期 2,010百万円（△7.4%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年1月期第3四半期	82.97	82.29
2019年1月期第3四半期	71.59	71.03

（注）当社は、2018年8月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益および潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年1月期第3四半期	40,695	30,389	74.3
2019年1月期	39,155	28,579	72.6

（参考）自己資本 2020年1月期第3四半期 30,218百万円 2019年1月期 28,434百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年1月期	—	30.00	—	15.00	—
2020年1月期	—	20.00	—	—	—
2020年1月期（予想）	—	—	—	17.00	37.00

（注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 当社は、2018年8月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2019年1月期の第2四半期末の配当金については当該株式分割前の金額を記載しております。

3. 2020年1月期の連結業績予想（2019年2月1日～2020年1月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,000	4.4	5,750	16.6	5,800	15.1	4,000	39.8	114.54

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年1月期3Q	37,600,000株	2019年1月期	37,600,000株
② 期末自己株式数	2020年1月期3Q	2,676,194株	2019年1月期	2,676,174株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年1月期3Q	34,923,809株	2019年1月期3Q	34,923,882株

(注) 当社は、2018年8月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数(普通株式数)を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P.2「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2019年2月1日～2019年10月31日)におけるわが国経済は、これまで好調を維持してきた企業収益に一部足踏み感が見られたものの、雇用情勢や所得環境は改善傾向が継続しており、総じて緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、米中貿易摩擦の影響により輸出関連企業を中心に懸念される投資の抑制や、英国のEU離脱問題、東アジア・中東における地政学的リスクの顕在化など、景気先行きの不確実性はさらに高まっております。

情報サービス産業においては、企業のビジネスモデルや業務プロセスをICTで変革するデジタルトランスフォーメーションの実現に向けた戦略的投資が本格化しており、AIやIoT、モビリティ、ロボティクス等をはじめとする先進技術を活用したサービス市場の拡大が期待されております。

このような情勢のなか、当社グループは第2期中期経営計画「PROMINENT(プロミネント)」が2年目を迎え、事業効率のさらなる改善と事業規模拡大を目指し、各種課題に取り組んでまいりました。とりわけ、注力事業のスマートファクトリー事業およびセキュリティサービス事業については、自社開発製品・サービスのさらなる機能拡張やラインナップ拡充、パートナー企業との連携強化に取り組み、事業拡大を推進いたしました。また、その他サービスについても、既存顧客のさらなる深耕による取引拡大、新規顧客の開拓に取り組んでまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、前期のハードウェア切替需要に伴う仕入販売の反動減の影響があったものの、スマートファクトリー事業やセキュリティサービス事業が伸長したほか、製造業・公共向けのシステム構築・開発支援やマイグレーションサービス等の需要が拡大したことにより、売上高は380億8千7百万円、前年同期比11億7百万円(3.0%)の増となりました。利益面については一部の開発商談において不採算案件が発生したものの、収益性の高い商談の増加や自社製品・サービスの拡販に加え、継続的に取り組んでいる生産性・品質向上施策の推進により、営業利益は44億3千8百万円、前年同期比7億4千2百万円(20.1%)の増、経常利益は45億7百万円、前年同期比7億8千4百万円(21.1%)の増、親会社株主に帰属する四半期純利益は28億9千7百万円、前年同期比3億9千7百万円(15.9%)の増となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(デジタルインダストリー事業)

デジタルインダストリー事業におきましては、一部の企業に慎重さが見られるものの、全体的にはICT投資意欲は引き続き活況であり、スマートファクトリー関連ビジネスや製造業向けシステム開発、製品開発支援サービスなど、事業全般が堅調に推移したことにより、売上高は130億3千6百万円、前年同期比6億8千1百万円(5.5%)の増となりました。利益面では中部・西日本地区におけるシステム開発分野を中心に収益性の高い商談が増加したことにより、営業利益は28億7千1百万円、前年同期比4億8千2百万円(20.2%)の増となりました。

(サービスインテグレーション事業)

サービスインテグレーション事業におきましては、前期のハードウェア切替需要に伴う仕入販売の反動減の影響があったものの、セキュリティサービス事業や公共向けシステム構築・開発支援サービス、マイグレーションサービス等が伸長し、売上高は250億5千万円、前年同期比4億2千5百万円(1.7%)の増となりました。利益面では一部の開発商談において不採算案件が発生したものの、セキュリティ関連製品・サービスの拡販や収益性の高い商談が増加したことに加え、品質・生産性向上策など利益率向上のための諸施策に取り組んだ結果、営業利益は41億1千万円、前年同期比2億8千6百万円(7.5%)の増となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

総資産の残高は406億9千5百万円となり、前連結会計年度末と比べ15億3千9百万円の増加となりました。これは、おもに現金及び預金が23億1千2百万円増加したことや投資その他の資産のその他に含まれる繰延税金資産が4億2千8百万円増加、未収入金が18億1千9百万円減少したことなどによるものです。

(負債)

負債の残高は103億5百万円となり、前連結会計年度末と比べ2億6千9百万円の減少となりました。これは、おもに未払法人税が2億9千7百万円減少したことなどによるものです。

(純資産)

純資産の残高は303億8千9百万円となり、前連結会計年度末と比べ18億9百万円の増加となりました。これは、おもに利益剰余金が16億7千5百万円増加したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年1月期の連結業績予想につきましては、2019年9月10日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,090,874	15,403,759
受取手形及び売掛金	10,428,823	10,884,317
有価証券	1,500,000	1,500,000
商品	364,207	504,033
仕掛品	379,305	605,503
未収入金	1,836,464	16,698
その他	746,631	975,164
貸倒引当金	△3,166	△213,284
流動資産合計	28,343,139	29,676,191
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,879,807	3,706,924
土地	2,004,644	2,004,644
その他(純額)	830,232	780,385
有形固定資産合計	6,714,684	6,491,954
無形固定資産		
その他	272,129	249,902
無形固定資産合計	272,129	249,902
投資その他の資産		
その他	3,877,220	4,328,953
貸倒引当金	△52,026	△51,968
投資その他の資産合計	3,825,193	4,276,984
固定資産合計	10,812,006	11,018,841
資産合計	39,155,146	40,695,033

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年10月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,350,830	2,267,823
短期借入金	350,000	350,000
1年内返済予定の長期借入金	13,600	13,600
未払法人税等	1,134,501	837,103
賞与引当金	581,320	1,075,799
受注損失引当金	8,848	64,353
その他	4,363,756	4,033,281
流動負債合計	8,802,857	8,641,960
固定負債		
長期借入金	68,200	54,600
長期末払金	513,602	513,602
役員退職慰労引当金	17,772	19,715
退職給付に係る負債	730,693	621,458
資産除去債務	439,894	452,853
その他	2,551	1,725
固定負債合計	1,772,714	1,663,953
負債合計	10,575,571	10,305,914
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,586,000	6,586,000
資本剰余金	6,733,706	6,733,706
利益剰余金	16,750,235	18,425,685
自己株式	△1,707,711	△1,707,759
株主資本合計	28,362,230	30,037,632
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	38,028	186,054
為替換算調整勘定	△9,650	△15,779
退職給付に係る調整累計額	43,714	10,811
その他の包括利益累計額合計	72,092	181,086
新株予約権	145,251	170,399
純資産合計	28,579,574	30,389,118
負債純資産合計	39,155,146	40,695,033

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年2月1日 至 2018年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年2月1日 至 2019年10月31日)
売上高	36,979,566	38,087,309
売上原価	28,653,207	28,717,946
売上総利益	8,326,359	9,369,363
販売費及び一般管理費	4,630,014	4,930,850
営業利益	3,696,345	4,438,512
営業外収益		
受取利息	231	2,436
受取配当金	13,380	17,560
為替差益	504	630
保険配当金	1,624	11,343
持分法による投資利益	—	2,780
貸倒引当金戻入額	157	278
補助金収入	—	15,395
受取手数料	—	6,060
その他	19,664	15,945
営業外収益合計	35,563	72,431
営業外費用		
支払利息	3,122	2,882
リース解約損	4,599	—
その他	1,612	650
営業外費用合計	9,334	3,532
経常利益	3,722,573	4,507,411
特別利益		
固定資産売却益	1,256	—
特別利益合計	1,256	—
特別損失		
固定資産除却損	2,262	532
特別調査費用	—	263,445
特別損失合計	2,262	263,977
税金等調整前四半期純利益	3,721,567	4,243,433
法人税、住民税及び事業税	1,313,807	1,501,697
法人税等調整額	△128,125	△156,047
法人税等合計	1,185,682	1,345,649
四半期純利益	2,535,884	2,897,783
非支配株主に帰属する四半期純利益	35,634	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,500,250	2,897,783

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年2月1日 至 2018年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年2月1日 至 2019年10月31日)
四半期純利益	2,535,884	2,897,783
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△184,947	148,025
為替換算調整勘定	△4,164	△6,129
退職給付に係る調整額	△335,798	△32,902
その他の包括利益合計	△524,910	108,993
四半期包括利益	2,010,974	3,006,777
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,978,699	3,006,777
非支配株主に係る四半期包括利益	32,275	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自2018年2月1日至2018年10月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	デジタル インダストリー 事業	サービスインテ グレーション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,354,982	24,624,583	36,979,566	—	36,979,566
セグメント間の内部 売上高又は振替高	9,530	469,982	479,513	△479,513	—
計	12,364,513	25,094,566	37,459,080	△479,513	36,979,566
セグメント利益	2,388,579	3,823,901	6,212,481	△2,516,136	3,696,345

(注) 1 セグメント利益の調整額△2,516,136千円は、主に報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自2019年2月1日至2019年10月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	デジタル インダストリー 事業	サービスインテ グレーション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	13,036,756	25,050,553	38,087,309	—	38,087,309
セグメント間の内部 売上高又は振替高	11,285	353,263	364,548	△364,548	—
計	13,048,041	25,403,816	38,451,857	△364,548	38,087,309
セグメント利益	2,871,079	4,110,304	6,981,383	△2,542,871	4,438,512

(注) 1 セグメント利益の調整額△2,542,871千円は、主に報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。